

事務事業名		市立病院運営事業		会計		病院事業		実施区分	
H28担当課等名		経営企画課		H28係等名		H27係等名		事業種別	
基本計画上の位置づけ		政策 3		健康やかに安心して暮らせるまちづくり		政策 32		医療の充実	
目的	対象(誰・何を)	二次医療圏(飯田下伊那地域)の住民及びその他の飯田市立病院利用者			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	当地域の医療圏において適正な医療が受けられる				飯田市及び下伊那郡の住民(人口)		162723	
	向上させたい上位施策の成果指標	必要な医療が受けられると感じる市民の割合							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	患者満足度調査 外来患者満足度			90	94.3	90	-	
	成果指標	患者満足度調査 入院患者満足度			90	93.5	90	-	
定性目標									
事業概要	<p>二次医療圏(飯田下伊那)の中核病院として、地域医療の充実に取り組む。</p> <p>病院の概要 一般病床403床 感染症病床4床 診療科目 32科 医師数 109名(研修医含む) 職員総数954名(臨時職員含む)(H28.4.1現在)</p> <p>中核病院及び公立病院としての取組 患者中心の医療を実践 診療体制の充実(医師・看護師等の充実、救命救急医療の体制整備、高度医療の充実、産科体制の充実) 医療安全の確保、病院の健全経営、がん診療連携拠点病院としての取組、医療機関の連携推進</p>								
事業内容					名称		活動指標		
27年度事業内容	<p>中核病院として、地域医療の確保と医療水準の向上を進め、安全・安心で良質な医療を提供する</p> <p>(1)診療体制の充実、医療安全の確保、がん診療、救急医療、産科医療の充実</p> <p>(2)患者中心の医療の実践</p> <p>(3)地域医療連携の推進</p> <p>(4)職員が誇りを持って働ける職場づくり</p> <p>(5)健全経営の推進</p> <p>(6)防災・災害対策の強化</p>				<p>外来患者数</p> <p>入院患者数</p> <p>救急車受入件数</p> <p>分娩件数</p>		<p>230,543人</p> <p>112,364人</p> <p>3,009件</p> <p>1,115件</p>		
事業コスト	26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①	16,697,918	14,740,918	13,804,091	15,711,712	<p>・(国)臨床研修等補助金</p> <p>・(県)がん診療連携拠点病院補助金ほか</p> <p>・病院事業債 充当率100%</p> <p>・一般財源は一般会計からの繰入金及び出資金</p> <p>(病院事業については、事業費に人件費を含んでいる。)</p>				
国庫支出金	18,797	20,000	16,643	20,000					
県支出金	47,413	41,500	35,949	36,600					
起債	374,700	807,500	513,700	1,100,300					
その他	14,847,408	12,414,486	11,784,949	13,239,312					
一般財源	1,409,600	1,457,432	1,452,850	1,315,500					
人件費計(千円)②	0		0						
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②	16,697,918	14,740,918	13,804,091	15,711,712					
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成27年度は延べ入院患者数が若干減少したが、1億3百万円余の黒字決算となった。								
改革改善の考え方	①問題点	<p>・他の医療機関、かかりつけ医との役割分担を明確にして体制充実を。</p> <p>・市立病院の医療の質や機能の向上。患者サービス向上。職員満足度の向上。</p>							
	②改革提案	<p>・地域連携の推進。飯田下伊那診療情報連携システム[ism-Link]の普及。</p> <p>・医療機器等の更新、教育研修機能の充実。アンケート等から改善の実施。</p>							